

地場産物の生産から商品の販売までを手がけ、障がい者の自立を支援する里！！

くりくりの里中津川農産物販売所

<事業者の概要>

- ・所在地 : 岐阜県中津川市苗木48-522
- ・運営主体 : 社会福祉法人 たんぽぽ福祉会
- ・取組内容 : 障がい者支援施設の運営
- ・売上高 : 3億2,100万円 (H30)
- ・販売部門 : 地場産農産物及びこれを使った加工食品、域外特産品(陶芸品等)、レストラン、ベーカリー等
- ・来客数 : 15万人 (H30)
- ・雇用者数 : 同会職員30人 (H30) (臨時雇用含む)
所属障がい者55人 (H30)
- ・URL : <http://enatanpopo.com/kurikurinosato>



当販売所外観



当販売所内部



手づくり館内部



手づくり館外観

【開設の経緯】

- 平成26年10月、地域の障がい者の自立を支援する就労の場所として、「くりくりの里中津川農産物販売所」をオープン。
- 平成27年以降、「軽食・喫茶」、「和食処」、「手づくり館」、「ベーカリーカフェ」を隣接地に順次増設。
- 上記の施設のほか、「管理農場」や「直営工場」も開設。

【特徴的な取組】

- 地元の契約農家の農産物のほか、管理する農場で生産した農産物(椎茸、野菜)や直営工場で製造した加工品(豆腐、味噌、パン、弁当等)を販売。
- 契約農家には、農産物の販売・在庫状況のデータがメールで配信され、これを基に農家が必要量を補充するシステムを構築。
- 一番人気の「椎茸」(「国産安心きのこ認証」を取得)は、所属障がい者が手分けして、栽培(原木、菌床)から収穫、加工、パッケージまで作業。
- 管理する栗林(4ha)で収穫された栗を当販売所で販売するほか、直営工場で栗きんとん等の菓子に加工・製造した後、手づくり館で販売。
- 農産物販売所の開設以降、多様な施設を増設した相乗効果により、来客者数が飛躍的に増加。
- 他の障がい者支援施設で製造された授産製品(陶器等)も販売。



しいたけ原木栽培

【取組の効果】 (注)当販売所のみ

- 売上高
0.4億円 (H27) → 1.4億円 (H30)
- 契約農家数
15人 (H27) → 130人 (H30)
- 来客数
2万人 (H27) → 14万人 (H30)
- 雇用者数(同会職員+所属障がい者)
20人 (H27) → 25人 (H30)

【今後の展望】

「そば」をテーマに、①そばの栽培、②手打ちそばを売りとしたレストランの新設、③そば打ち体験」等を検討中。

・農福連携の取組

